

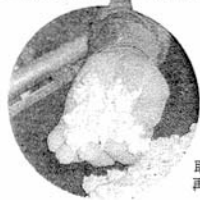


女性がつくる新しい政治

ふくおか ネットワーク NEWS

VOL.43

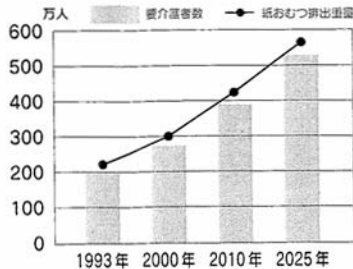
発行責任者 小宮 文字
 〒813-0044 福岡市東区千早5-17-18
 TKビル2号館1F
 TEL 092-662-5082 FAX 092-662-5097
 E-mail kenfn@fnet.gr.jp
 URL <http://www.fnet.gr.jp>
 購読料(年間):1,000円(単4回発行)



取りだした再生パルプ

ものがリサイクルされています。
 今回の見学を踏まえ、ふくおかネットワークの代理人は9月議会の一般質問で「一般家庭から排出される使用済み紙おむつを分別回収し、リサイクル工場へ持ち込めるルートができていないか」と懸念し、一石を投じました。

■要介護者数及び紙おむつ排出量予測



紙おむつのリサイクルは、パルプの原料である森林の保護や、ごみ焼却による二酸化炭素の排出削減につながります。しかし、産・学・官の共同開発で建設されたこのリサイクル工場へ、使用済み紙おむつの約7割を占める一般家庭から排出される紙おむつを持ち込むことはできません(法律上)。現在、リサイクル工場の近隣自治体の病院や介護施設の一部から事業所ゴミ(産業廃棄物)として排出されたものがリサイクルされています。

紙おむつは綿状のパルプと、尿を吸着する粉状の高分子吸収剤(ポリマー)からできていますが、福大の松藤教授らの研究により、使用済み紙おむつからパルプを取り出すことに成功し、今年4月から大牟田市に全国で初めて使用済み紙おむつのリサイクル工場が稼働しました。

高齢化が進み大人用紙おむつの利用が増え続けています。紙おむつの生産量は、乳児用おむつを含め国内で年間100億枚近くになりますが、使用済み紙おむつは一般ごみとして焼却処理されています。

エッ!
 紙おむつはリサイクル工場へ
 —リサイクル工場見学—